

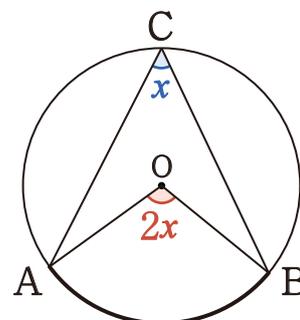
円周角の定理の逆

円周角の定理は、その逆にあたる定理も成り立つ。

円周角の定理

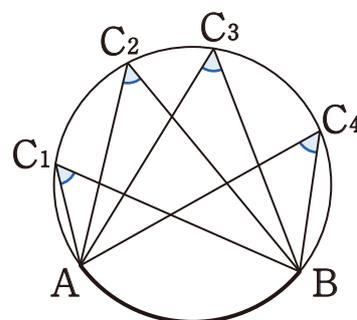
1. 1つの弧に対する円周角の大きさは、中心角の大きさの半分となる。

$$\angle ACB = \frac{1}{2} \angle AOB$$



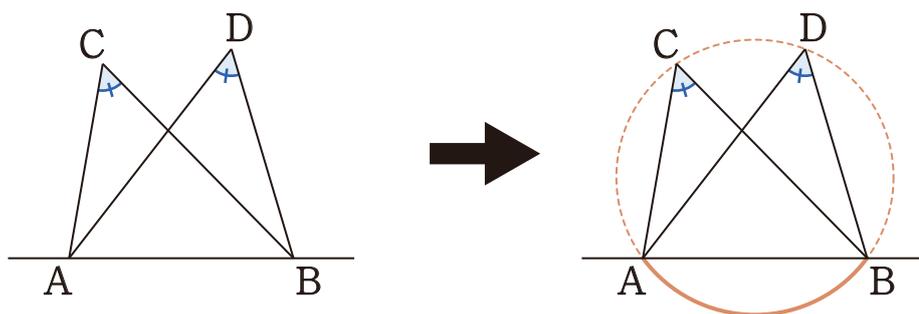
2. 1つの弧に対する円周角の大きさは、すべて等しい。

$$\angle AC_1B = \angle AC_2B = \angle AC_3B = \angle AC_4B$$



円周角の定理の逆

- 2点C, Dが同じ側にあつて  $\angle ACB = \angle ADB$  ならば、4点 A, B, C, Dは1つの円周上にある。



$\angle ACB = \angle ADB = 90^\circ$  のとき、4点 A, B, C, Dは ABが直径となる円の円周上の点となる。

